

まちのチーム・ワンダー委員会事業計画

委員長	川室	岳
副委員長	上杉	貴文
副委員長	古澤	真実
副委員長	前川	秀輔
運営幹事	歌川	創志
会計幹事	大河内	康平

【基本方針】

上越市では長期にわたり次世代を担う働き手である若者が進学を機に故郷を離れ県外就業者となり、企業が求める働き手が不足し、地域の発展や経済活動に支障をきたすという課題に直面しています。若者が上越市の魅力や可能性を知り、将来は地元企業で働きたいと思えるように、上越市には豊かな地域資源や様々な職種の企業が存在していること、そして未来に希望を持って働ける環境があることを若者や親子に周知する必要があります。

当委員会では、若者たちをはじめとして上越市に住み続けたいと感じてもらうためには、夢や希望を胸に抱いて住めるまちに変わる必要があると捉え、地域企業の魅力を伝え、Uターンを促進するための運動を展開します。まずは、世界のデジタル化の加速における企業の認知獲得方法を実践するために2月担当例会を開催し、メンバーの意識改革を図ります。そして、上越市で事業を行い働き住む意義について理解するために4月担当例会を開催し、若者がUターンしやすい環境を考える機会にします。さらに、将来の就職先として上越市を選択してもらうために、地域企業と若者たちの出会いの場となる地域活性化事業を開催し、それぞれの才能を発揮する環境と活躍できる場を創出し、地域資源を活用した多種多様な業種にふれることで上越市の未来に可能性を感じて頂きます。また、親子や家族で交流することで職業の理解が深まり、未来への展望がより明確になり、市内での就職の決断を促すことにつながります。そして、この運動を地域に根付かせ、企業が自発的に若者たちとの持続的な出会いと交流の場を提供することで、働き手不足が解消されます。

上越市の魅力を知った親子と次世代を担う若者たちは、この地域に誇りと愛着が芽生え、活気あるまちは将来に向け新たな時代を築き、市民と企業が一体となる強固な共同体はすべての人に居場所があり、絆のある社会構築が上越市の経済成長につながると確信します。

【委員会職務分掌】

1. 会員拡大運動の推進
2. 創立 60 周年記念事業への参画

3. 2月担当例会の実施と報告
4. 4月担当例会の実施と報告
5. JCI 上田交流会
6. 9月地域活性化事業の実施と報告